

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について
(第十一報)

秋暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校教育活動の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

学校に子供たちの声が響くなか、心なしかカリオンの音も華やいで聞こえます。あたり前の日常。あたり前であること、普通であることがいかに有り難いことかと実感し感謝の念に堪えません。

さて、本通知(第十一報)は通常登校再開にあたり、学校と保護者が情報連携・行動連携すべきことについて、これまでの「新型コロナウイルス感染症への対応について(第一報～第十報)」に示した内容をとりまとめ、またはアップデートしたものです。

今後とも常に関係機関と連携し、正しい情報の収集に努めながら状況の変化に即時対応することを心がけて参ります。ブラッセル日本人学校の関係者として矜持をもって落ち着いて行動していきましょう。

記

1 新型コロナウイルス感染症の現状とその対策について

(1) 1月28日付の文部科学省通知において、新型コロナウイルス感染症は第一種指定感染症に指定されました。よって、感染した児童生徒は治癒するまで出席停止とします。(第一報)

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染であるとされています。ソーシャルディスタンス(社会的距離)、マスク着用、十分な換気、なにより十分な睡眠等で健康管理をしっかりと自己免疫力を高めることが大切であるとされています。自ら感染しないだけでなく他人に感染させない意識を高めていきましょう。

また、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の者からの感染の可能性も指摘されており油断は禁物です。

これらの状況を踏まえ、「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒や咳エチケットの励行等を徹底します。

(2) 新型コロナウイルス感染症については、終息について未だ見通すことができない状況です。また、ウイルスがすでに複数に変異しているとの情報もあります。換気や手洗い等日常的にできる対策については今後も継続していきます。

ア 毎日のドアノブ、手すり、電気のスイッチ等の消毒を行います。

イ 通気性を高めるためドアや窓は開放し、ドアノブ等に児童生徒が接触しなくて良いようにします。(寒い場合に備えた服を持参させてください。)

ウ ソーシャル・ディスタンス確保とマスク着用を指導します(運動時以外は基本的に着用。)

ただし、医師の指示によりマスク着用ができない場合は事前にご相談ください。

エ 手洗い(登校時下校時、教室を出たあとは毎回)を励行します。手洗いを基本として必要に応じてアルコール消毒を励行します。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないように指導します。

オ 3つの密(密閉・密集・密接)を回避するため、行事を始め全校集会等は実施しません。

(ア) 密閉空間で多くの人々が密集し密接している場面(社会的距離が確保されない)という3つの条件のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。

(イ) 小学部児童の集会に関しては実施できます。実施するとしたら、できるだけ開放空間で換気を良くし、短時間で行うこととします。

(ウ) 屋外であっても、密集・密接には注意します。人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すこと、激しい呼気や大きな声を伴う運動は避けます。

カ 当面の間は帰りの会終了後の放課後遊び、放課後活動を禁止します。小学部児童同士の接触はある程度認められていますが、中学生や教師・保護者については社会的距離を保ち、密閉空間に密集しないことが大切です。

キ お迎えについて(心配しております)

(ア) 現地校においては校地校舎内への立ち入りを禁止しています。これはフランス語共同体における学校再開のルールにも示されています。本来禁止です。地元では通用口から本人が出てきたら一緒に帰るといった形式です。

(イ) 小学部児童同士の接触はある程度認められていますが、大人は認められません。社会的距離を意識するだけでなく、短時間でお迎えが完了するようご協力ください。

(ウ) お迎えは運動場に待機していただき、児童と合流の後は、立ち止まらずお帰りください。立ち止まるとの会話等があると集団が形成されてしまいます。クラスター発生ともなると休校しなければなりません。通常登校が継続されることを強く望んでいます。厳格なルールの適用は窮屈ですが、この点くれぐれもご協力を宜しくお願い致します。

(3) 新型コロナウイルス感染症発症が疑われる事案について

ア 朝の検温を確実に実施してください。体調不良に関しては登校をしないという原則の徹底をお願いします。子供たちは登校日を楽しみにしてくれています。ですからなおさら発熱等を見逃してしまうということがないようにご配慮願います。

イ 熱発の症状があったら

(ア) 37.5℃の熱があった場合(体温にも個人差がありますので、通常の体温より高く、風邪症状がある場合)には、病院を受診してください。新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は医師からPCR検査を指示されます。新型コロナウイルス感染症かどうかの判断は医者が行います。

(イ) PCR検査を指示され、検査を受ける場合は必ずその旨を学校に連絡してください。PCR検査を指示されなかった場合は、医者が通常の風邪(もしくは新型コロナウイルス感

染症以外の病気)と判断したということですので、治癒したら登校できます。

- (ウ) 医師から念のためPCR検査を受診するか聞かれる場合があります。その際にPCR検査を受ける場合は必ずその旨を学校に連絡してください。受けない場合は、医者も新型コロナウイルス感染症ではない可能性が高いと判断している(新型コロナウイルス感染症の疑いが濃厚の場合はPCR検査を受けるように指示されます)わけですから、その結果を受けて通常通り、体調が回復したら登校させてください。
- (エ) PCR検査を受け結果が出るまでの期間は、出席停止とします。結果陽性であれば出席停止を継続しますが、陰性であったらその日から病欠扱いとします。
- (オ) 児童生徒の家族及び濃厚接触者がPCR検査を受けた場合(結果が出るまで)及びPCR検査が陽性であった場合は、当該児童生徒は出席停止とします。家族及び濃厚接触者が陽性であった場合はコンタクトトレーシングの結果を待ち、当該児童生徒の登校が問題ないと判断されたらその旨学校に連絡してください。校医とも情報共有し、学校が登校の可否を判断しご連絡します。(学校保健安全法19条、ブラッセル日本人学校規則別添1の10)
- ウ 検査及び検疫を必要とする国からベルギーに入国した場合
- (ア) 14日間の自宅待機期間は出席停止措置をとり、欠席扱いはしません。(第三報)
- (イ) これまではインターネットによる授業参加により出席扱いとしていましたが、通常登校開始後はインターネット配信ができなくなります。8月31日(月)から通常登校が始まりますが、担任が通常授業を実施しながらインターネット配信を同時に行うのは困難なためです。さらには、多くの学級で同時配信を行うとデータ通信に過負荷がかかり接続ができなくなります。(現在でもすでにそういった事態が発生しており、担任の多くは自宅から授業配信を行っていました)
- (ウ) 14日間の自宅待機期間は出席停止措置となり、欠席とはなりません登校に備え、規則正しい生活をしましょう。学習課題についても担任にご相談ください。登校後に欠席期間の授業内容について質問等あれば担任、教科担当にお問い合わせください。

2 パンデミックレベルによる授業形態について(第十報)

9月からの新学期は危険度低(黄色)でスタートする方針が示されました。パンデミックレベルは各言語共同体政府(教育行政を所管)から発出されるもので、危険度レベルを4段階で示しています。

(1) 危険度低(黄色)スタートの場合

ア 小学部について

小学部は通常登校です。ただし、中学部と動線を分ける必要があります。よって、3階を中学部フロアとします。1, 2階を小学部フロアとします。これに伴い、小学部5, 6年生をA B組合同クラスとします。小学部6年が小学部5年B組教室、小学部5年が小学部5年A組教室を使用することとします。学年部の人数が少ないのは小学部2, 5, 6年生ですが、高学年で自立・自律できる小学部5, 6年生をそれぞれ一クラスとし、臨時的に二人担任制とします。

イ 中学部について

中学部は条件付きで通常登校です。一グループ14人以下ルールがなくなりましたのでクラスを分ける必要はなくなりました。小学部と接触させないため、小学部との動線を完全に分けることにより通常登校ができます。社会的距離の確保は必須条件です。

ウ 職員室について

小学部及びフランス語講師の職員室は、これまでの職員室とします。中学部及び英語講師の職員室は3階のコンピュータ室とします。

(2) 危険度中(橙色)の場合

ア 小学部は通常登校です。危険度低(黄色)の場合と同じです。ただし、修学旅行等の校外学習が実施できなくなります。

イ 中学部1, 2年生は危険度低(黄色)の場合と同じです。中学部3年生は火水木の2. 5日間を登校日とし、月金をオンライン授業とします。ただし、現在中学部3年生については、現地ベルギーの中等教育第2期にあたるものの、進路選択を控えた学年であり、保健衛生上のルールを厳格に適用することを条件に通常登校を認めてほしい旨について打診しておりますことを申し添えます。

(3) 危険度高(赤色)の場合

小学部は原則通常登校です。ただし、オンライン授業に切り替えることもありますので、状況によりご連絡します。中学部は原則オンライン授業を実施します。(必要に応じて登校日を設けます)

(4) 危険度ゼロ(緑色)の場合

小学部中学部ともに通常登校です。新型コロナウイルス感染症に係るあらゆる制約はありません。

3 その他

- (1) 今後、新型コロナウイルス感染症が学校再開後に本校の関係者から確認された場合【再掲】児童生徒のみならず、保護者、教職員、教職員の家族から、新型コロナウイルス感染症が確認された場合は学校閉鎖を行います。本校関係者から新型コロナウイルス感染症をださない努力を皆で協力し取り組んでおりますが、万が一感染した場合は仕方ないことです。その時はお互いに助け合い励まし合おう。それが日本人学校の成員として当たり前なことと思います。必ず学校への連絡をお願い致します。学校は在ベルギー日本国大使館と文部科学省への連絡を行います。その場合の休校の期間はコンタクトトレーシングにより当局の調査を受け決まります。

先の見通せない不安な状況が続きます。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で乗り切って参りましょう。

○ この件に関してご不明な点は、担当までご連絡ください。

担当 黒川 昌彦 矢野千恵子 電話 日本人学校(02)672-1038